

## 自治基本条例（仮称）に関する懇談会 傍聴者アンケート

第1回実施分（平成28年11月28日開催） 自由記載欄

### ○ 今回の懇談会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・コミセンやコミセンの協議会を条例内に位置づけることについては、慎重にご議論していただきたいと考えます。コミセンや地域の担い手は、高齢化、固定化、新規参入の難しさなど、コミュニティの在り方においても今後大きな課題となると思っているからです。加え、市内での保育所設立反対運動もNHK等にも報道され、良い意味ではなく注目をされている時です。市民、議会、行政による、より良い武蔵野市の自治のあり方について、先生方の議論に大変期待しています。また、地方分権、地方自治こそ、しっかりと位置づけることが重要だと考えています。
- ・議会の活動。議会の意志決定を重視すべきだと思います。地方議員個々には基本的に何の特権もありません。議会の委員会の意志決定、そのプロセスが大切だと思います。その上で、執行権との関係を自治基本条例には明記すべきです。議会基本条例においては議会の活動ルールを定める必要がありますが、市民―市長―議会の関係性については自治基本条例に明記すべきです。それと、コミュニティのこと。市民自治の尊重を明記していただきたい。
- ・「行政から副市長2人、議会から代表2人が、メンバーとなったことは全国的にも自治基本条例を策定する手法として画期的」「最大の議会改革」「最大の行政改革」

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）